

井の頭恩賜公園花便り



ヒトリシズカ（センリョウ科）

山野の湿った場所に見られる多年草です。茎の先に光沢のある4枚の葉が輪状につき、中央から白いブラシ状の花が1本伸びて咲きます。花弁と萼はありません。茎から1本だけひっそりと白い花が咲く姿を、静御前が一人で美しく舞う姿に見立てこの名前が付いたと言われています。

カタクリ（ユリ科）

早春の山野などに咲く多年草です。茎の先に4～5cmの紅紫色の花が一輪咲きます。花びらが反り返ってうっむいて咲きます。夜や気温の低い日には花は閉じてしまいます。片栗粉は現在は、馬鈴薯でん粉がほとんどですが、元々はカタクリの鱗茎から取れるでん粉を使用していました。



ひゃっこちゃん・ひやくさいくん

※花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所(Tel.0422-47-6900)までお問い合わせください。